

夜間市民サービスについて

真の住民サービス向上！



若杉 泰彦

問 市内には共稼ぎ家庭が数多くあります。市民の皆さんが仕事を休まなくても市役所で各種の手続きができる夜間サービスが大変喜ばれ、市役所にとっても税金などの収納率向上になっていると聞いています。少ない職員により幅広く市民の要望に応えるためにも市民が各課を移動することのないワンストップサービスが真の意味での住民サービス向上になります。これからサービスの拡大

が予想される中で、定時勤務から時差勤務、及び一台のコンピュータで各種の手続きができる総合窓口システムの採用についての考えは

答 夜間市民サービスは平成16年から「火曜ナイト」として実施し利用者も多く好評を得ています。職員については時間外手当の支給ではなくフレックスタイムで対応しています。今後においても現体制を継続していきます。総合窓口化についてはお客様をたらいまわしにすることなく、来庁の目的を聞き、親切に案内をし、あるいは職員が出向くなどしています。



問 職員の増員になると財政のコストアップになると思います。一箇所ですいろいろな業務ができるようになれば職員教育や

資質の向上につながります。本庁と支所での手続きも庁内LAN(情報網)を利用して一箇所で行えるようにならないか

答 今後ワンストップサービスについては様子を見ながら進め、悪いところがあれば変えていくように考えています。提案のありました内容についてもしっかりと検討しながら市民サービスに努めます。

最近の指導のテーマとしている事は、「自然体バレーボール」です。現時点で出来る最高の指導です。具体的には「故障させない」「怪我をさせない」「教え過ぎない」の3点です。

プレーの中で、たくさん使う箇所(肩、肘、腰、膝等)に疲れがたまり、故障やケガをしやすくなります。予防として、十分なストレッチ体操と基本動作の練習を行います。練習の殆ど



監督 岡村信廣

全国大会出場

黒潮東バレーボール スポーツ少年団

自然に身体が動いて、サーブレシーブ、トス、スパイクまたレシーブという順で一人ひとりが自分のプレーを続けている。すごいと思う選手はいない。誰がプレーをしていても同じに見える。窮屈、無理をしている、ということとは殆ど感じない。(試合が進むとなんとなく点が入っている)

を自分達の力でおこないます。(大人がボールを出すと大人本人の感情が出てつい怒ってしまいます)

今回、県大会で優勝する事ができ、全国大会に出場しますが「黒潮東・自然体バレーボール」で頑張ります。皆様の応援をよろしく願います。

監督 岡村信廣